



漁業センサス

2018年 漁業センサス

海面漁業調査 &
内水面漁業調査 平成30年
11月1日

流通加工 平成31年
調査 1月1日

漁業の現状を知り
将来を考えるための大切な調査です
ご協力よろしく申し上げます



農林水産省



政府統計

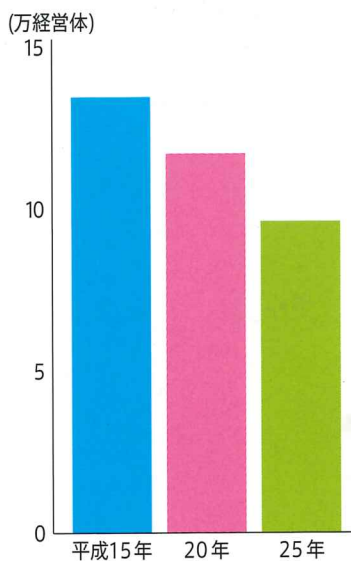
【漁業センサスとは】

漁業センサスは、漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的に、5年ごとに行う全国一斉の調査です。

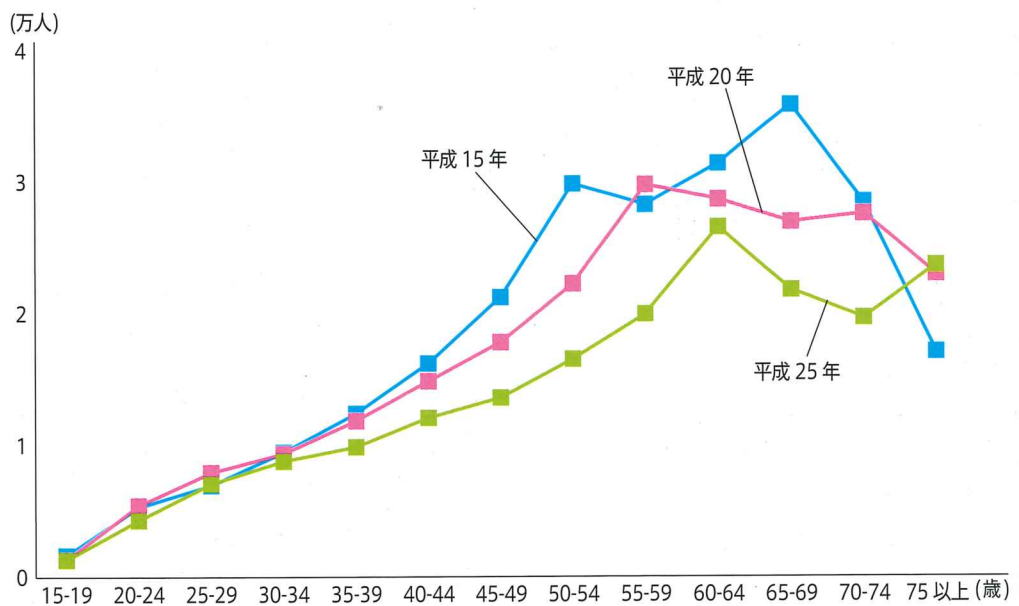
世界では水産物の需要が増大している一方、水産資源の多くがすでに満限あるいはそれ以上に利用されており、我が国周辺の豊かな水産資源を適切に管理し、国民に安定的な供給を行うことが重要となっています。

…例えばこんなことがわかります

海面漁業における
漁業経営体数の推移



海面漁業における年齢階層別漁業就業者数



統計データはこのように活かされます

- 水産施策の企画・立案・推進
- 地方交付税の算定基礎
- 漁港の整備、漁場の保全
- 各種統計調査の母集団情報

市町村ごとのデータも公表しています
(農林水産省のウェブサイトにて)

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/index.html>



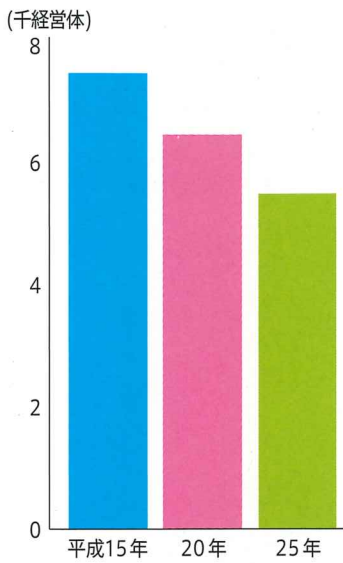
また、我が国では漁業者の減少・高齢化や国民の魚離れなどが懸念されています。

農林水産省では、このような課題に対応するため、様々な水産施策を企画・立案しており、その重要な指標として「漁業センサス」は活用されています。

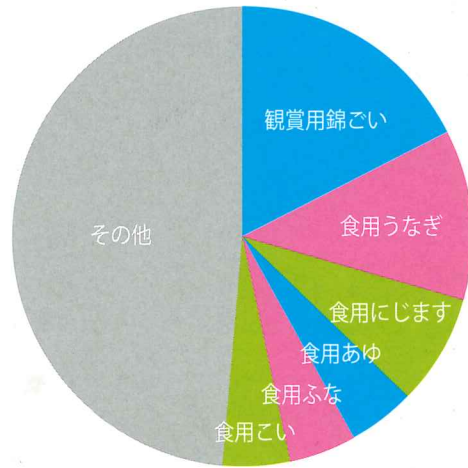
昭和24年に調査を開始しました



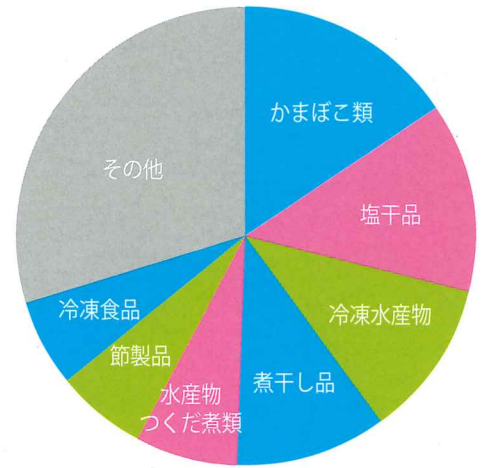
内水面漁業における漁業経営体数の推移



主とする養殖種類別内水面漁業経営体数の割合 (平成25年)



主とする加工種類別工場数の割合 (平成25年)



あなたの個人情報法律で守られます

漁業センサスは、統計法に基づく基幹統計調査です。調査内容は、統計の作成や各種統計調査の名簿作成など、定められた目的以外に使うことを法律で禁じられているため、調査の結果が税金の徴収等に使われることは一切ありません。また、調査員には守秘義務があり、調査で知り得た情報が他人に漏れることもありませんので、ご安心ください。

ありのままをご記入ください



皆様のご協力、お願いします!

- 実施主体：農林水産省・都道府県・市区町村 -

**2018年漁業センサスは、
インターネットを利用したオンラインでも回答できます。**

オンラインによる回答は
お好きな時間にできますので、ぜひご利用ください。
なお、回答方法については、調査票と併せてお配りする
操作ガイドをご覧ください。

＼ 調査のお問合せは /

漁業センサスコールセンター

0570-018-632 (ナビダイヤル)

IP電話の場合：03-5539-0276

海面漁業調査 & 内水面漁業調査

設置期間：平成30年11月30日まで

受付時間：11月14日までは、午前9時～午後8時
(土・日・祝日にもご利用いただけます。)

11月15日からは、午前9時～午後5時
(土・日・祝日はご利用いただけません。)

流通加工調査

設置期間：平成31年2月15日まで

受付時間：1月11日までは、午前9時～午後5時
(土・日・祝日はご利用いただけません。)

1月15日からは、午前9時～午後8時
(土・日・祝日にもご利用いただけます。)

